



Photography

輝き・やすらぎ・賑わい



香北の自然公園開園セレモニー

編集後記

落語がブームと言われている。ファンという方は結構多い。

私も子守唄代わりに落語を聴いている。今は「唐茄子屋政談」という古典落語にはまっている。大店の若旦那が

放蕩の末に勘当されて、川に身投げしようとする。それを自身の

叔父に助けられ、最後は人助けができるまでに成長し、勘当が解けるとい

うストーリーだ。叔父さんの言いつけで唐茄子の行商に出るが、思うように売れない。困っているとこ

ろを、通りすがりの人が代わって売ってくれ

が秀逸だ。

話しは全く変わるが、先頃、授業料が完納できず卒業証書を返還させられたというニュースが報じられた。親も子も、どんな気持ちだったろうか。

「唐茄子屋政談」では、自分の不心得で勘当された人間に対してでさえ寛容で、世間は見捨てなかった。落語の中の話しと比べるのはおかしいかもしれないが、今、世の中全体に寛容さがなくなっているのではないだろうか。

なんでも「自己責任」で放り出す世情の先になにが来るだろう。

(〇)